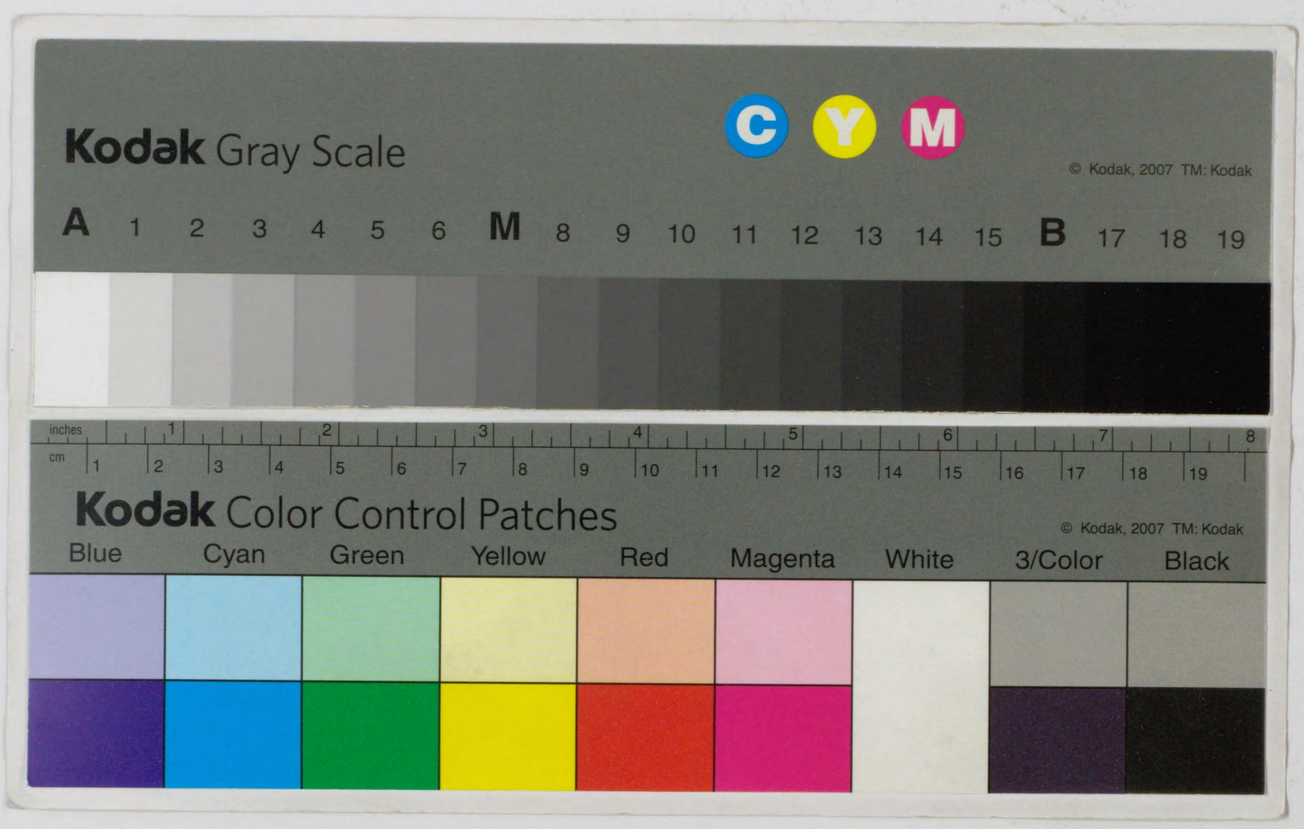


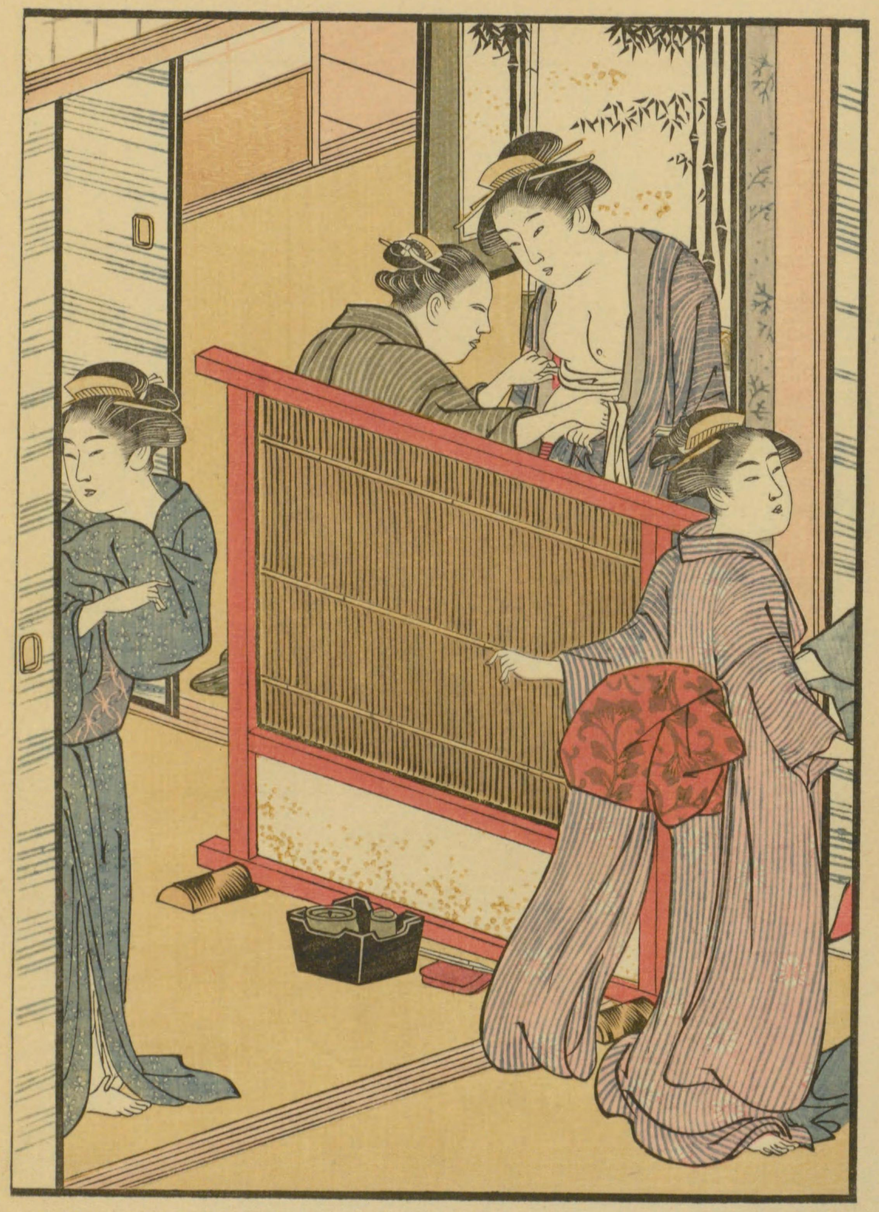
203
2
96

203-96
1200901407987

大正
6. 8. 23
購求

栄下二

栄下三



栄下五

泉市
本問屋
ゑまきしゃいや

203
2
96

繪本榮家種

古來版行せられたる繪本は、多く花柳の風俗を主題となし、然らざるも亦たこれを混ゆるを常套となすものなるに、獨りこの榮家種に至りては、全然其撰を異にし、良家の家庭を描寫したるなり、しかも此種の作品の世に流布するもの多からざる、吉左堂春潮の筆に成りしものを彩色摺となしたるは、他に類例を知らず、洵に珍籍と稱すべきなり。

本書は其外題により察せらるゝが如く、女子の一生を描きたるものにて、幼時の教訓に初まり成年の後の婚姻、遊山、出産、宮詣等を次第に寫し出し、これに文字を加へざるも猶且つ圓滿なる一家和樂の徑路を知らしむるに餘りある、小說體作品なれば、又說明の贅辯を要せざるべし、而して其畫は能く春章の風韻を傳へ、別に淸長の筆致を咀嚼し、打てこれを一團となしたる、幽婉、雅健の妙を極めたるを賞すべし、中にも男女衣裝の文樣の如き、最とも微細に畫かれたれば、天明寬政頃の流行は明瞭に知り得べきなり。

春潮は、其號を吉左堂といひたる外に、本書の奥書に據り、別に中林舍と稱しゐたることを知るべく、また勝川の姓を用ひゐたる確證となすべき落款あるは、序文中に春章の旭朗井とあると共に、浮世繪史を補ふ資料となすに足るべし。

大正五年臘月初澁

風俗繪卷 圖畫刊行會識

江都畫工 中林舍勝川春潮

寛政二庚戌年孟春

芝神明前 板元 和泉屋市兵衛

栄下八